

パソコンを利用した受付システムに関する調査・研究

A study and research on the computer aided front desk system

博士前期課程 2年 長船 彩
情報処理研究室 教授 森下 伊三男

Master's candidate Sai Osafune
Information Processing Laboratory Professor Isao Morishita

要旨

平成13年7月下旬に、朝日大学の経営学部学生を対象に、オープン利用室の受付システムに関するアンケート調査を行った。その結果、いくつかの問題点が存在することを確認することができた。結果をまとめたので、ここに報告する。

Abstract

We have conducted questionnaire to survey the front desk system of Open-Riyou-Shitsu in July 2001. Respondents are students in Business Administration in Asahi-University. According to the survey, we found some problems with the front desk system. The survey outline and results are described in the present report.

1. はじめに

朝日大学情報教育研究センターに附置されているオープン利用室には、授業で使用するパソコン教室と同じソフトウェアがインストールされ、ネットワークにも常時接続されているパソコンが、現在62台設置されている。利用時間内であれば、学生及び教職員は、授業の課題、自主的な学習、Web ページの閲覧等の目的で、いつでも利用することができる。ただし、同室を利用する際には専用パソコンによる受付が必要である。朝日大学の情報関連の授業では、主に教員による講義、学生による演習からなっていることが多い。学生は、授業を受けるだけでなく、授業内容をより深く理解するために、予習・復習を含む自主学習も行なわなければならない。この両者の橋渡しとなる場を「オープン利用室」が提供していると考えることができる。例えば、授業終了後すぐに復習ができれば、授業内容の理解がより深まる。また、オープン利用室のパソコンはインターネットにも常時接続

されており、授業の合間の短時間でもネット検索や電子メールの送受信等が可能という利点がある。

しかし、利用にあたってはオープン利用室の受付に時間がかかる場合もあるなど、問題点も見られる。このような問題点が積み重なれば、学生の学習意欲やコンピュータに関する興味を減少させることにもなりかねない。

現在、情報技術（IT）は医療、教育、工業等の分野で、広く活用されている。筆者は、朝日大学の学部学生に対する、パソコン教室を利用する授業でティーチング・アシスタント（TA）を務めていることもあり、授業に対する学生の要望を直接知る機会が多い。また、約3年半にわたりオープン利用室でアドバイザーのアルバイトを行っているため、オープン利用室の受付システムに対する学生の意見を知る機会も多い。

そこで、本稿ではオープン利用室の受付システムに関して行なったアンケート調査について報告する。なお、今回の調査によって得られた

データを、修士学位論文の作成のための資料として利用し、今後のより詳細な分析に活用する予定である。

2. オープン利用室の受付システムについて

オープン利用室の受付システムでは、利用希望者はまず、専用の受付パソコンで、利用するソフトウェア・利用するパソコン・利用時間などを選択する。次に各選択項目について一括して確認をすることによって、選択したパソコンを利用することができる。受付システムは次の6つの画面から構成されている。

- (1) 表紙
- (2) ユーザー名・パスワードの入力
- (3) 使用するソフト・利用目的の選択
- (4) 使用したいパソコンの場所の選択
- (5) 利用時間の入力
- (6) 確認

この受付システムを利用することによって、学生は希望にかなったパソコンを利用できるようになる。同時に、情報教育研究センターも学生のパソコン利用状況が把握でき、オープン利用室の運用をより充実させるための資料の一つとして活用することができる。また、最大3時間まで認められている利用時間が経過すると、利用許可は自動的に取り消され、更に延長して使用を希望する学生は、もう一度受付が必要になる。このことにより、一人の学生が一台のパソコンを長時間占有するという状態になることを防止している。今回のアンケートは、受付システムに重点を置いた調査であるので、前述した受付システムの6つの画面に着目して、それぞれの画面について調査項目を作成した。

3. アンケート調査の方法

今回の調査は、次に示す内容で実施した。使用した調査用紙は、本稿末【資料】に添付している。

①調査対象

朝日大学経営学部経営学科・情報管理学科に所属する、1学年から4学年までの全ての学生1,410名を対象とした。内訳を[表1]に示す。

[表1] 調査対象者内訳

	男	女	合計
経営	871	48	919
情報管理	456	35	491
合計	1,327	83	1,410

②調査方法

各教員が受け持つ授業登録者数分の調査用紙を、予め個別に教員に配布した。1年生は基礎演習、2年生は外国語、3年生は専門演習Ⅱ、4年生は演習Ⅱの授業を利用して、学生の調査用紙への回答記入を各教員に依頼した。また、2年生の外国語は、重複して受講している学生が存在するため、あらかじめ名簿などによって回答する学生を指定することで、回答が重複しないようにした。なお、調査用紙の回収に際しては、教員メールボックス付近に回収箱を設置し、同回収箱への投函を依頼した。

③調査の実施期間

平成13年7月2日～7月13日
調査対象者1,410名中、42.8%にあたる603名から回答を得た。内訳を[表2]に示す。

[表2] 回答人数内訳

	男	女	合計
経営	319 (52.9%)	25 (4.1%)	344
情報管理	237 (39.3%)	22 (3.6%)	259
合計	556	47	603

※表中の%は全回答者数(603名)に対する割合である

4. アンケート調査の結果

回答者603名のうち、[問1] (資料参照)でオープン利用室の受付用パソコンで受付をしたことがあると答えた人数は、468名(77.6%)であった。この468名を以後の分析対

象とした。また、学科学年別・男女別内訳は、
[表3] のとおりである。

[表3] 利用者の学科別・男女別内訳

	男	女	合計
経営	226 (48.3%)	22 (4.7%)	248
情報管理	201 (42.9%)	19 (4.1%)	220
合計	427	41	468

※表中の%は合計(468名)に対する割合である

次に、対象となった468名に対して、[問2]で受付システムの6つの画面について合計16問、および、[問3]でユーザー名・パスワード入力以外の画面での入力方法、[問4]で受付システム全体への評価について質問した。結果を以下に示す。

4.1 [問2]に関する結果

受付システムで表示される6つの画面について、回答者の人数および得点平均は[表4]のとおりである。

[表4] [問2]の人数内訳および得点平均

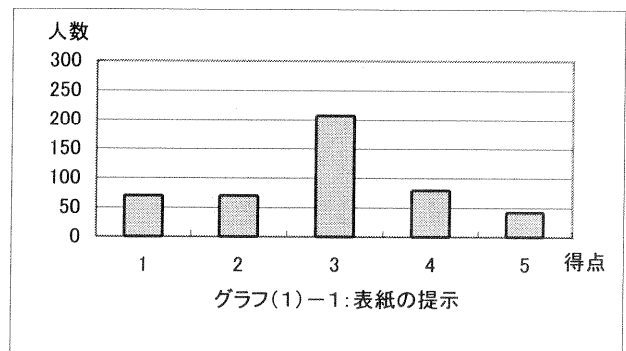
質問 \ 得点	1	2	3	4	5	平均
(1)-1	70	70	207	79	42	2.90
(1)-2	63	92	238	45	27	2.74
(2)-1	89	87	132	86	74	2.93
(2)-2	268	99	78	12	10	1.71
(3)-1	105	93	150	73	45	2.70
(3)-2	102	128	102	68	68	2.73
(3)-3	101	116	117	63	69	2.75
(4)-1	162	165	95	30	15	2.08
(4)-2	80	124	160	71	32	2.68
(4)-3	138	119	146	40	23	2.34
(5)-1	60	45	190	102	71	3.17
(5)-2	128	71	130	76	63	2.73
(5)-3	144	95	125	62	40	2.48
(6)-1	58	51	161	110	88	3.25
(6)-2	36	39	178	115	99	3.43
(6)-3	216	117	108	15	12	1.91

ただし、得点の1から5までは、実際のアンケートの選択肢にある1~5までとは関係がなく、1に近づくほど現状のシステムに不満あるいは評価が低く、逆に5に近づくほど現状のシステムに満足あるいは評価が高いという設定になっている。以下、各質問ごとにグラフを示し、[表4]と合わせて説明する。

(1) 表紙画面

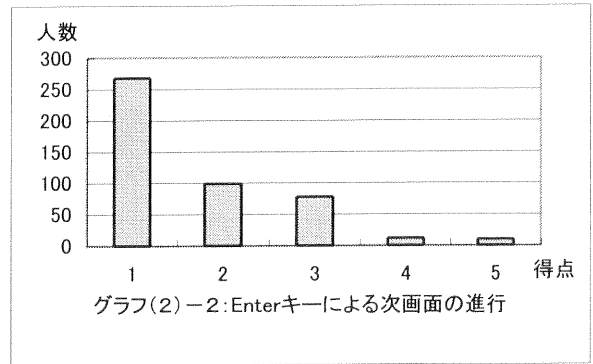
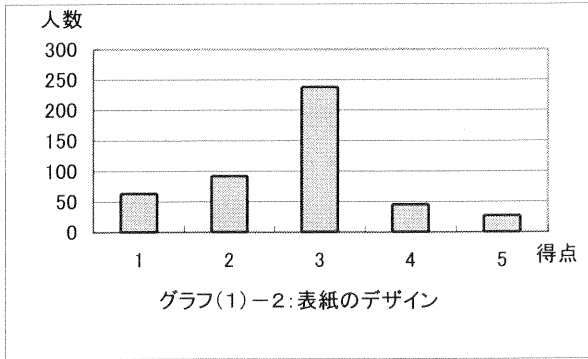
(1)-1 表紙の提示

受付の最初に表示される「表紙」が、必要であるか否かを質問している。受付画面の表紙が「必要である(得点4,5)」と回答した学生は、121名であり、利用者の30%弱にすぎない。これに対して「必要ない(得点1,2)」と回答した学生は140名である。また、「どちらでもない(得点3)」と回答した学生は207名で全体のほぼ半数を占めており、表紙に関してはあまり関心をもっていないようである。



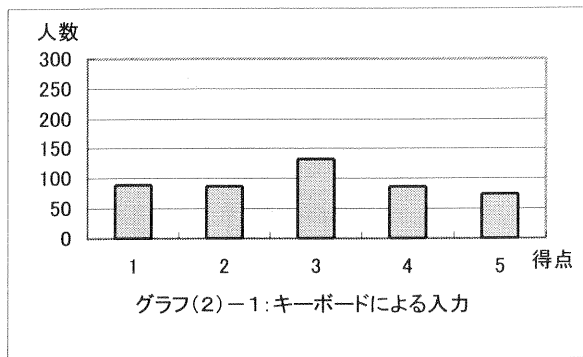
(1)-2 表紙のデザイン

受付の表紙画面のデザインが、良いかどうかを質問している。「デザインが良い(得点4,5)」と回答した学生は72名、逆に「デザインが悪い(得点1,2)」と回答した学生は155名であり、良いと回答した学生よりも悪いと回答した学生の方が若干多い。また、「どちらでもない(得点3)」と回答した学生は238名で、あまり関心をもっていない学生が多いようである。なお、次のユーザー名・パスワード入力の画面に移動するには、[次へ]のボタンをマウスで一回クリックしなければならない。



(2) ユーザー名・パスワードを入力する画面
(2)-1 キーボードによる入力

この画面では、利用希望者はあらかじめ指定されたユーザー名とパスワードを、キーボードから入力しなければならない。そこで、ユーザー名およびパスワードを、キーボードで入力するのが面倒かどうかを質問している。「面倒である(得点1,2)」と回答した学生は160名、「面倒ではない(得点4,5)」と回答した学生は178名であり、意見が分かれている。

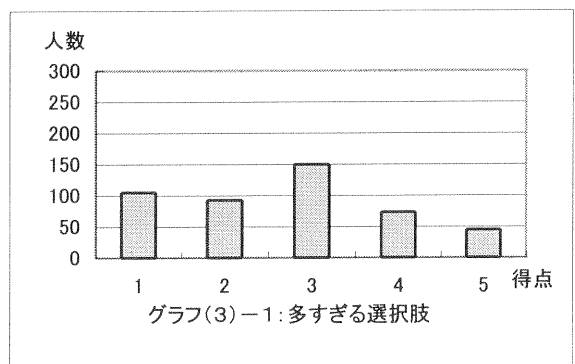


(2)-2 [Enter キー] による次画面への進行

現在のシステムではキーボードでユーザー名・パスワードを入力した後、次の画面に進行するには、[次へ]のボタンをマウスで一回クリックしなければならない。ここでは[Enter キー]は使用できない。そこで、次の画面に移動する場合に[Enter キー]を使えるほうが良いかどうかを質問した。学生の半数以上が、[Enter キー]を「使えるほうが良い(得点4,5)」と考えており、ユーザー名・パスワード入力に際して[Enter キー]を使用できるようにシステムを改善するのが良いと捉えられる。

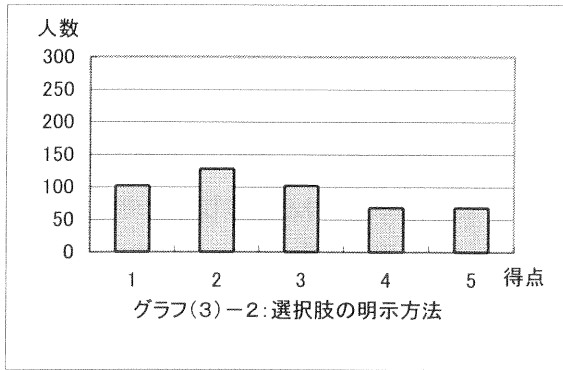
(3) 使用するソフト・利用目的を選択する画面
(3)-1 多い選択肢の数

この画面では、利用希望者は使用したいソフトを、約30個ある選択肢の中から選ばなければならない。1つ以上選択しなければ次の画面に進行することができない。そこで、使用するソフトを選択する際に、ソフトウェアの選択肢の数が多いかどうかを質問している。「どちらかといえば選択肢が多すぎる(得点1,2)」とする意見が強い。なお、使用ソフトを選択する際、例えば Word のみを選択していても、Internet Explorer や Excel 等、他のソフトを使用することも可能である。



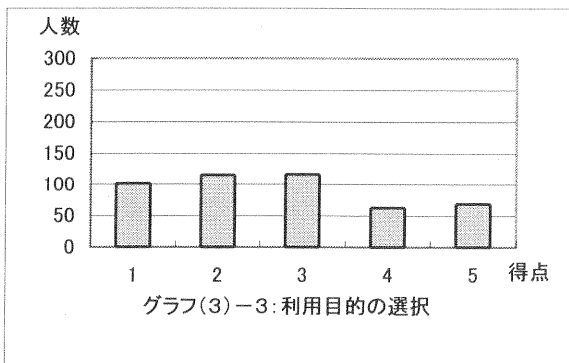
(3)-2 選択肢の表示方法

使用するソフトを選ぶ画面を見て、使用したいソフト名が分かりやすいかどうかを質問している。およそ半数に近い学生が、使用したいソフトの名称が「わからないことがある(得点1,2)」と感じているようである。



(3) -3 利用目的の選択

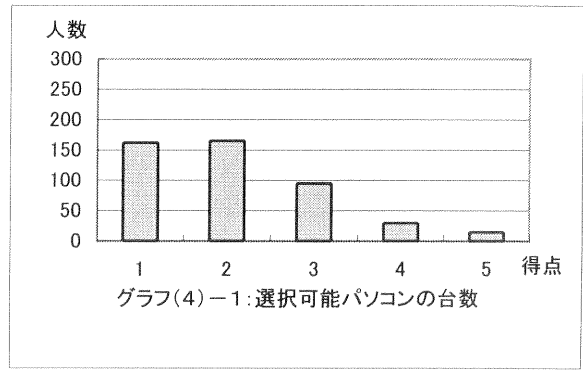
この画面では、使用したいソフトと共に、「課題」「自習」「卒論」「研究」「就職」「その他」という利用目的を一つ以上選択しなければならない。そこで、利用目的の選択に迷ったことがあるかどうかを質問している。利用目的の選択に迷ったことのある学生(得点1,2)は半数を超えており、選択項目を精選することが望まれる。例えば、「自習」「その他」の区別がわかりにくいという点が原因の一つとして考えられる。



(4) 使用したいパソコンの場所の選択画面

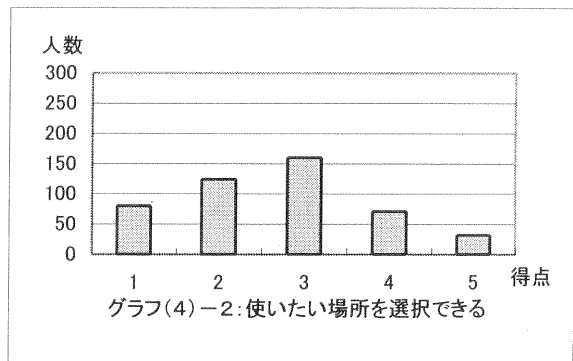
(4) -1 選択可能パソコンの台数

この画面では、前画面で選択した使用するソフトに応じて、利用可能パソコンが数台表示される。利用希望者は、その中から好きな場所を選択できる。そこで、選択できるパソコンが少ないかどうかを質問している。言い換えれば、使用可能なパソコンの台数の多小である。70%弱の学生が、「選択可能パソコンの台数が少ない(得点1,2)」と感じているようである。



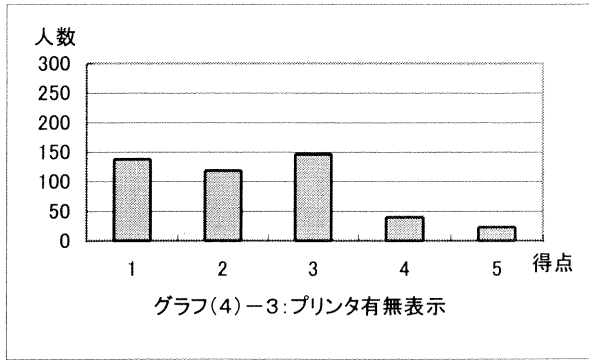
(4) -2 使いたい場所を選択できる

使用したい場所、すなわち、座りたい場所を上手く選択できるかどうかを質問している。およそ半数に近い学生は、本来使いたい場所を利用できていないようである。(得点1,2)



(4) -3 プリンタの有無表示

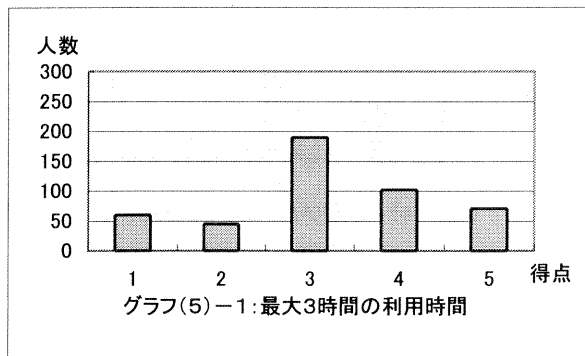
オープン利用室には、プリンタが使用できるパソコンと、故障等の原因によりプリンタが使用できないパソコン、あるいは元々プリンタが接続されていないパソコンが存在している。そこで、学生が選択場所を決定する際、これを把握できるように、プリンタが利用できないパソコンのリストがモニターに一覧表示される仕組みになっている。そこで、プリンタが使用できないパソコンの場所がわかりやすいかどうかを質問している。プリンタの使用可否が「判別しにくい(得点1,2)」とする学生が半数を超えている。学生が課題を提出するにあたり、印刷を行なうことが非常に多いので、学生の課題提出に影響がでる可能性が考えられる。



(5) 利用時間を入力する画面

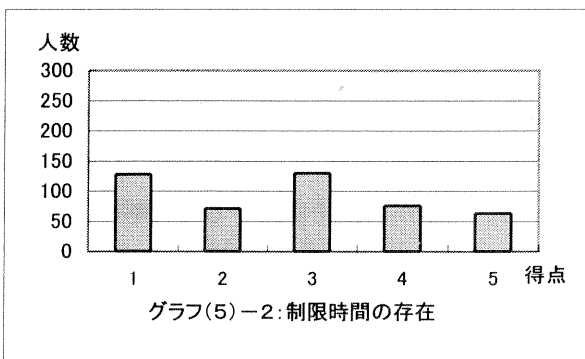
(5) - 1 最大3時間の利用時間

利用者の最大利用時間は3時間であるが、この最大利用時間が短すぎるかどうかを質問している。70%以上の学生は、「短いとは思わない(得点3,4,5)」と回答している。



(5) - 2 制限時間の存在

パソコンの利用時間制限は、ない方がよいかどうかを質問している。「ない方がよい」ということについて、「やや思う(得点2)」学生が71人、「非常にそう思う(得点1)」学生が128人と回答している。

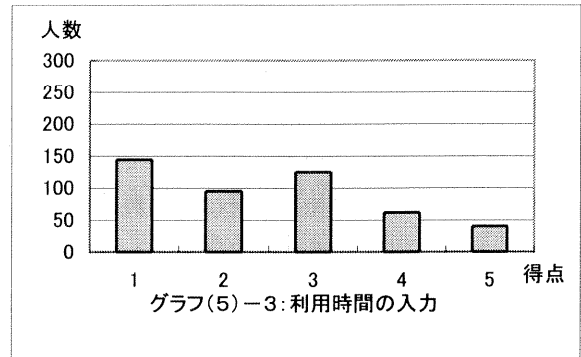


(5) - 3 利用時間の入力

利用時間は、「時間」と「分」の項目から10

分単位で選択することができる。また、利用時間を入力しなければ、次の画面に進行することができない。そこで、パソコンの利用時間を入力することが、面倒かどうかを質問している。

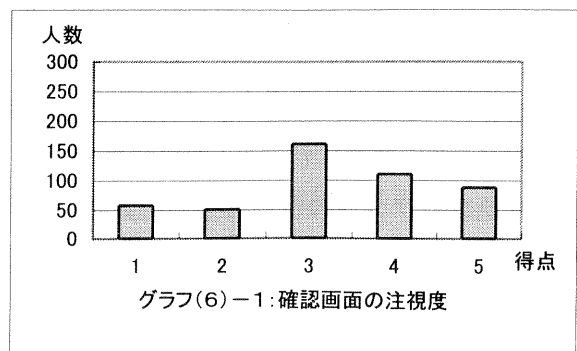
「やや思う(得点2)」と回答した学生は95人、「非常にそう思う(得点1)」と回答した学生が144人となっている。



(6) 確認画面

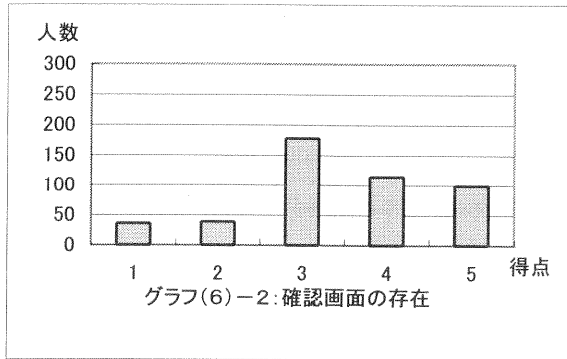
(6) - 1 確認画面の注視度

この画面では、これまで入力及び選択した項目が全て表示される。利用希望者は項目に間違いがないかを確認し、[確認] ボタンをマウスで一回クリックすることで、パソコンを使用することができるようになる。そこで、受付システムへの入力事項をいつも確認しているかどうかに関して質問している。「いつも確認している(得点5)」が88人、「だいたい確認している(得点4)」が110人であり、全体の40%以上を占めており、「確認をあまり行っていない(得点1,2)」の109人よりも、多いことが把握できる。



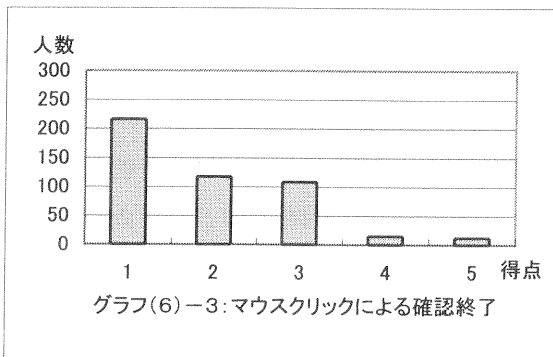
(6) - 2 確認画面の存在

受付システムへの入力事項確認画面が必要かどうかを質問している。確認画面が「必要である(得点4,5)」と回答した学生は214名であるのに対し、「必要ではない(得点1,2)」と回答した学生は75名となっている。



(6) -3 マウスクリックによる確認の終了

現在のシステムでは、入力事項の確認画面を終了するために、「確認」ボタンをマウスで一回クリックすることになっているが、その際、マウスクリックの他に、[Enter キー] が使えるとよいかどうかを質問している。学生の半数以上が、[Enter キー] を「使えるほうが良い(得点1,2)」と回答おり、確認に際して[Enter キー] を使用できるようにシステムを改善するのが良いと捉えられる。



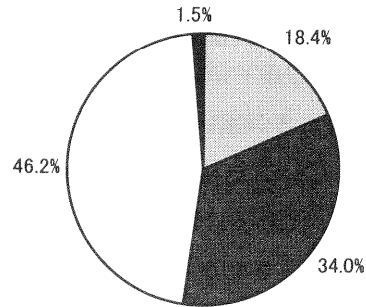
4.2 [問3] に関する結果

ユーザー名、パスワード入力以外の画面において、受付用パソコン・システムの入力方法として、①キーボード、②マウス(今までと同じ)、③タッチパネル の3つから選ぶとすれば、どれが最も良いかを質問している。その結果、回答者のほぼ半数にあたる216名が③タッチパネルがよいと回答した。

[表5] [問3] の内訳および割合

	人数	割合
キーボード	86	18.4%
マウス	159	34.0%
タッチパネル	216	46.2%
無回答	7	1.5%

□1(キーボード) ■2(マウス) □3(タッチパネル) ■無回答



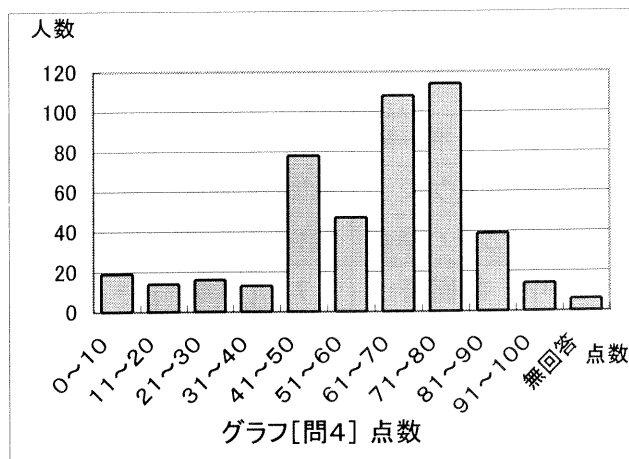
グラフ[問3] 受付の入力方法

4.3 [問4] に関する結果

オープン利用室のパソコンによる受付システムは、100点満点中何点であるかを質問している。点数ごとの人数内訳を[表6]に示す。平均では63.2点という評価を得ている。しかし、0点から100点まで人数が広がっていることから、個人的嗜好が影響しているものと思われる。

[表6] 点数ごとの人数内訳

点数	人数	割合
0~10	19	4.1%
11~20	14	3.0%
21~30	16	3.4%
31~40	13	2.8%
41~50	78	16.7%
51~60	47	10.0%
61~70	108	23.1%
71~80	114	24.4%
81~90	39	8.3%
91~100	14	3.0%
無回答	6	1.3%
合計	468	



学生にとっては Web ページを閲覧するソフトとは違うものと思わせてしまう要素があり、単に「インターネット」と表記することが望ましいと考えられる。

[表7] 質問(3)項目間の相関係数表

	(3)-1	(3)-2	(3)-3
(3)-1	1.00	.44*	.46*
(3)-2	.44*	1.00	.63*
(3)-3	.46*	.63*	1.00

5. 分析結果

データ分析には、STATISTICA (Stat Soft 社)を使用した。データ分析・解析に関する方法には、様々なものが存在しているが、本稿では質問項目の相関分析を行なった。それぞれの質問項目ごとで、特に高い相関関係が見られたものについて報告する。なお、下記にてでくる相関係数表の中の「*」は、有意水準0.05で有意と判断されたものを表わす。

5.1 使用するソフト・目的を選択する画面

[表7]のように、[問2]の質問(3)「使用するソフトと利用する目的を選択する画面」で、それぞれの質問間に高い相関関係が見られる。質問(3)-1,2はソフト、質問(3)-3は利用目的についての内容であり、それぞれ選択する項目が違っているが、どちらもわかりにくいという点で共通しているため、高い相関が得られたと考えられる。ソフトの名称は、そのほとんどが英字で表示されている。例えば、学生は使用するソフト名称を授業では「エクセル」と聞いており、英字名を知らない場合、「Excel」という表記の選択項目が同じとは判別できず、選択したいソフトがわからないという場合が考えられる。そこで一つの対策として、英字名の後に片仮名表示をつけるとわかりやすくなると考えられる。また、Web ページを閲覧したい場合は、「インターネットブラウザ」と表記されている項目を選ばなければならない。この表記は、

5.2 使用したいパソコンの場所の選択画面

[表8]のように、[問2]の質問(4)「使用したいパソコンの場所の選択画面」で、(4)-1と(4)-2に高い相関が見られる。これは、選択できるパソコン表示数が少ないために、使用したい場所を選択できないことが多いと感じている学生が多いためと考えられる。現在のシステムでは、前画面で利用するソフトとして Word やインターネットブラウザのような全てのパソコンに存在するソフトを選択した場合、選択可能と表示されるパソコンの台数は、少ない時には2~3台、多い時には5~6台ほど表示される。この数は、オープン利用室が混雑していない時でもほぼ同じである。そこで対策例の一つとしては、混雑状況に応じて、空いている時は10台ほど、混雑している時は3台ほど表示するなど、選択可能パソコンの表示台数を変えることなどの方法が考えられる。

[表8] 質問(4)項目間の相関係数表

	(4)-1	(4)-2	(4)-3
(4)-1	1.00	.36*	.30*
(4)-2	.36*	1.00	.06
(4)-3	.30*	.06	1.00

5.3 利用時間を入力する画面

[表9]のように、[問2]の質問(5)「利用時間を入力する画面」で、それぞれの質問間に

高い相関関係が見られる。(5) - 1 と (5) - 2 では、制限時間が最大3時間では「短いとは感じていない」が、制限時間は「ない方がよいと感じている」学生が多い。(5) - 2 と (5) - 3 では、「制限時間はない方がよい」と感じていると同時に、「入力が面倒だ」と感じている学生が多い。これは、制限時間が短いとは思っていないが、利用時間の選択のための入力が面倒であるために、制限時間はない方がよいと回答しているものと考えられる。なお、制限時間を設けなければよいという対応策があるかもしれないが、制限時間は一人の学生が一台のパソコンを長時間占有することを防止するために設けているので、廃止することはできないと考えられる。そこで対策の一つとして、現在のシステムでは10分単位での選択になっているが、1時間・2時間・3時間の3択にし、簡素化することで面倒と感じる学生を減少させることができると考えられる。

[表9] 質問(5)項目間の相関係数表

	(5)-1	(5)-2	(5)-3
(5)-1	1.00	.46*	.28*
(5)-2	.46*	1.00	.58*
(5)-3	.28*	.58*	1.00

5.4 次画面進行および確認の[Enter キー]使用
 [表10]のように、[問2]の質問(2) - 2と質問(6) - 3の間に高い相関関係が見られる。これは、ユーザー名・パスワードを入力した後の次画面へ進行するための[Enter キー]使用と、確認のための[Enter キー]使用を望む学生が非常に多いためと考えられる。グラフ(2) - 2とグラフ(6) - 3もほぼ同じ形状になっている。そこで、現在マウスクリックのみが使用可能となっている次画面進行および確認を、マウスと[Enter キー]の両方を使用可能にすることが望ましいと考えられる。

[表10] (2)-2と(6)-3項目間の相関係数表

	(2)-2
(6)-3	.58*

6. おわりに

今回のアンケート調査では、受付システムに存在している問題点を認識することができた。ただし、本稿では具体的な解決策については時間的な関係であり論ずることができず、「こうした方がよい」との推定にとどまる部分が多い。したがって、修士論文では、上記の点について、できる限りの考察を行なう予定である。

【参考文献】

- [1] 菅 民郎著『アンケートデータの分析 新版』現代数学社 2000
- [2] 新村 秀一著『パソコン楽々統計学』講談社 1998
- [3] 武藤 真介著『STATISTICA によるデータ解析』朝倉書店 2000

【資料】

オープン利用室の受付システムについてのアンケート

平成13年7月
朝日大学大学院経営学研究科
情報処理研究室（内線1776）

この度、朝日大学内にあるオープン利用室（7号館2階）の受付システムについて調査させていただくことになりましたので、御協力をお願いいたします。
尚、この調査は情報処理研究室が独自に行なうもので、情報教育研究センターとは一切関係がありませんので、このアンケートについてのご質問等は情報処理研究室までお願いいたします。

※まず、学科・学年・性別について該当する項を○で囲んで下さい。

学科（ 経営 ・ 情報管理 ） 学年（ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ） 性別（ 男 ・ 女 ）

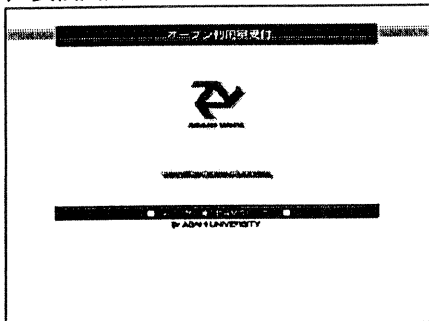
問1、あなたはオープン利用室の受付用パソコンで受付をしたことがありますか？該当するものを○で囲ってください。

はい（ → そのまま次の問へ ） いいえ（ → 問5へ ）

問2、問1で「はい」と答えた方のみにお聞きします。

受付時に表示される以下の各画面について、それぞれの質問に5～1の中から一つずつ選んで○で囲んで下さい。

(1) 表紙画面

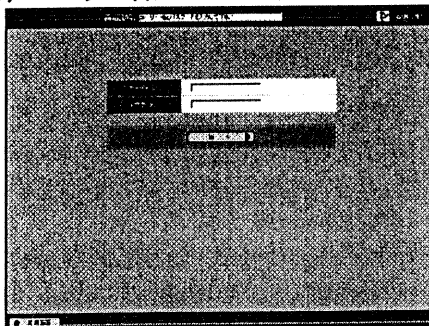


- ・この画面(表紙)は必要だと思う。
- ・デザインが良いと思う。

非常に 思う	やや 思う	ど れでも ない	あ まり そう 思わ ない	全 く そ う 思 わ な い
-----------	----------	----------------	---------------------------	--------------------------------------

5	4	3	2	1
5	4	3	2	1

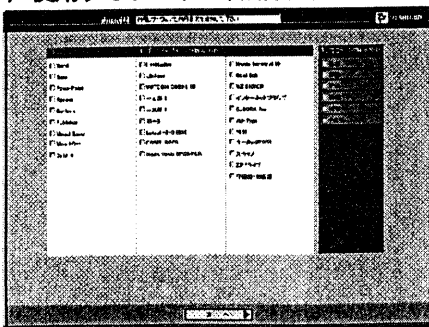
(2) ユーザー名、パスワードを入力する画面



- ・キーボードで入力するのは面倒くさい。
- ・次へ はエンターキーを使えるとよい。

5	4	3	2	1
5	4	3	2	1

(3) 使用するソフト、利用目的を選択する画面

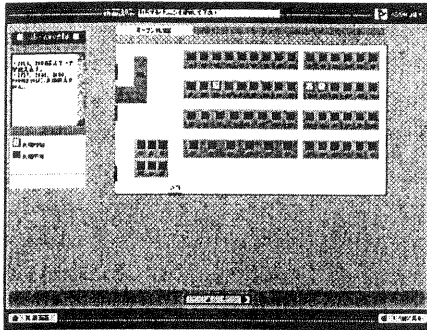


- ・ソフトの名称(選択肢)が多すぎる。
- ・利用したいソフトの名称がわからないことがある。
- ・利用目的の選択に迷ったことがある。

5	4	3	2	1
5	4	3	2	1
5	4	3	2	1

→ 裏面へつづく

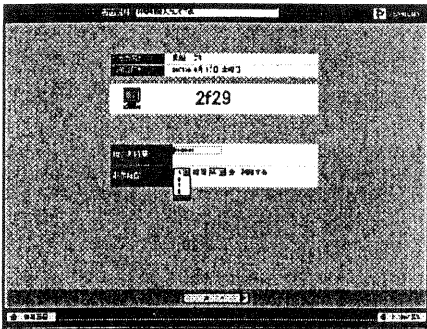
(4) 使用したいパソコンの場所を選択する画面



- ・ 選択できるパソコンが少ない。
- ・ 使いたい場所をだいたい選択することができる。
- ・ プリンタがついていないパソコンがわかりにくい。

	非常にそう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	全くそう思わない
・ 選択できるパソコンが少ない。	5	4	3	2	1
・ 使いたい場所をだいたい選択することができる。	5	4	3	2	1
・ プリンタがついていないパソコンがわかりにくい。	5	4	3	2	1

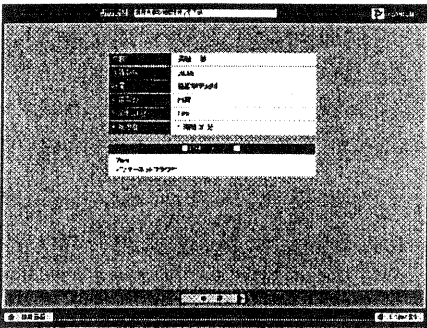
(5) 利用時間を入力する画面



- ・ 制限時間が最大3時間では短すぎる。
- ・ 制限時間はない方がよい。
- ・ 利用時間の入力面倒だ。

・ 制限時間が最大3時間では短すぎる。	5	4	3	2	1
・ 制限時間はない方がよい。	5	4	3	2	1
・ 利用時間の入力面倒だ。	5	4	3	2	1

(6) 確認画面



- ・ この画面でいつも確認をしている。
- ・ この確認画面は必要だ。
- ・ **確認** はエンターキーが使えるとよい。

・ この画面でいつも確認をしている。	5	4	3	2	1
・ この確認画面は必要だ。	5	4	3	2	1
・ 確認 はエンターキーが使えるとよい。	5	4	3	2	1

問3、ユーザー名・パスワード入力以外の画面で、受付用パソコンの入力方法として次の3つの中から選ぶとすると、どれがよいと思いますか？一つ選んで○で囲って下さい。

- 1, キーボード
- 2, マウス(今までと同じ)
- 3, タッチパネル(銀行のキャッシュコーナーのように指で画面を操作する)

問4、あなたが受付用パソコンのシステム全体に点数をつけるとしたら、100点満点中何点ですか？

() 点 / 100点

問5、その他、受付システムに対して要望や不満等がありましたらお書き下さい。

問1で「いいえ」と答えた方で、これまでオープン利用室を利用しなかった方はその理由を教えてください。

御協力ありがとうございました。